



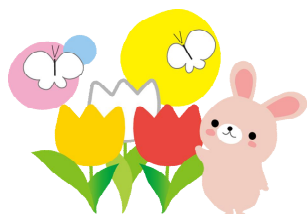
明日のために、今日を学ぶ

ピンポイント工法の売上

有限要素解析(FEM)を使用して型枠支保工の早期解体計算を行う「ピンポイント工法」は当社独自の工法であり、日本全国の建築現場で採用されています。

今や当社の事業部門として、大きな地位を確保しつつあります。そして今月の3月11日に、請求ベースで、年間売上高1億円を達成いたしました。

この工法はまだ知られていないこともあり、潜在需要は大きいと思われまます。さらなる伸長を目指し事業活動を続けます。



人は何のために生きるのか、難しいテーマであり、答えが見つかることはないでしょう。

人はそれぞれに生き様があり、家族や友人などの人間関係や、仕事での取組みや挑戦、自分が好きな趣味やスポーツなどへの取組みなど、様々なことが原動力となって、人の生きる力となっていると思います。

人によって生き様の違いがあるとして、人の成長を考える時に、「明日のために、今日を学ぶ」と言う姿勢は非常に大事だと思います。

人の中には、人生の後半になって自分の実績(生き様)を自慢ばかりして、人の話を聞かないような人もいますが、このような人は論外です。どんなに偉大な人であっても、いや、偉大な人であればあるほど、「明日のために、今日を学ぶ」、姿勢は強いのではないかと思うのです。

学ぶと言っても、本を読んで新しい知識を得たり、習い事を始めたりするわけではなく、日常の生活の中にも学ぶことはあると思います。

例えばテレビでも、いろんな番組が放送されていますが、その中にも学ぶことは多くあると思います。

最近では、ニュースが放送されると、コメンテーターがそのニュースに対して、自分の意見を言うことが定番となりつつあります。

コメンテーターの意見も様々で、どのような基準で選ばれた人かを疑問に思うようなこともあります。中には真をついた良いコメントもあります。コメンテーターのカラーと、その意見から、人柄が見えることもあり、そこから学ぶこともあります。

また、自ら行動を起こして失敗をしながら学ぶことも大事です。身の廻りには、学ぶべき事象がたくさんあって、私たちは無意識の内にも、そうした刺激を受けて学びながら成長していきます。

「明日のために、今日を学ぶ」この姿勢をどこかで意識している人は、接していても気持ちが良いものです。



当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

今年の学卒新入社員がゼロに

建設業界では長く不況が続き、人を育て鍛えるという風土が失なわれていましたが、少子高齢化の影響を受け、若い人を建設業界に迎えようという、気運が高まっています。

建設業の特色である、現地単品生産では、労働力と技能の確保は、必ず達成しなければならない課題です。

しかし、労働力の不足は建設業界だけでなく、他産業でも深刻な問題で、各産業で若い人の争奪戦となっています。当社もその状況を理解して、新入社員の確保に力を注ぎました。残念ながら若い力の確保は成功しませんでした。

今月も事故がありませんように。(拝)

2019年 安全成績

■ 現場災害 2019.1.1-3.12	
休業災害	----- 0
不休災害	----- 0
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 0
■ 交通災害 2019.1.1-3.12	
人身災害	----- 0
物損災害	----- 0
合計	----- 0